よこはま支部だより

2016年 新年号　　VOL.64

一般社団法人　神奈川県建築士会 横浜支部
THE YOKOHAMA BRANCH KANAGAWA PREFECTURE
SOCIETY OF ARCHITECTS & BUILDING ENGINEERS

もくじ

表紙 新年のあいさつ	1頁
神奈川県建築士会 活動交流会 （横浜大会）－1	2頁
神奈川県建築士会 活動交流会 （横浜大会）－2 夏の納涼会に参加して	3頁
美術館建築シリーズ 国立西洋美術館 日帰り研修バス旅行	4頁
テニス同好会	5頁
おしらせ	6頁

◆ 新年のご挨拶 ◆

横浜支部長　山成芳直

新年明けましておめでとうございます。会員、賛助会員の皆様には支部運営に対して格別のご協力を賜りまして誠に有難うございます。

さて皆様方にはどのような心持で新春をお迎えされていることでしょうか？私は上場企業の好調な決算状況とは裏腹に設備投資の抑制や建設関連の資材・人件費高騰等も加わり、建築業界を取り巻く経済は厳しいものと感じた昨年でした。

新国立競技場や杭打ちの騒動は建築士を含む建築関係従事者への国民の不信感も増大した一年でした。

空き家の増加や鬼怒川の氾濫など、社会インフラの問題も顕在化した一年だと感じています。

一方、明るい話題としては市民参加型の横浜マラソンの開催やアップルコンピュータ開発拠点の横浜誘致が決定など、横浜市の賑わいの息吹きも感じた一年でした。

さて、当会では検討を重ねてきた会費値上げを昨年は実施される中で苦渋の判断でしたが、会員の皆様のご理解とご協力を頂けたことは支部を預かる者として感謝の念に堪えない次第でございます。

支部活動を通じた会員同士のコミュニケーションは建築士会を支える根幹であります。魅力ある建築士会となるよう微力ではありますが努力して参りますので会員の皆様には各種イベントへの積極的なご参加等により、当会を盛り上げていただけましたら幸いでございます。

本年が皆様にとって良い一年となりますようお祈りしております。

第１３回　神奈川県建築士会活動交流会（横浜大会）

上記のようなテーマで開催致しました。

＊まち歩き（女性委員会・青年委員会協力）　32 名　10：00～11：30

Ａコース：**横濱　近代様式建築から戦後防火帯建築まで**

ご案内人：カサイ アーキテクチュラル デザイン 笠井氏

Ｂコース：**「残照に訪ねる@横濱」**

現存する建造物と解体されてしまった建造物

ご案内人：(有)森山建築設計事務所　森山氏

県庁職員　村島氏

＊講演会　127 名

会場　横浜情報文化センター　情文ホール　14:30～16:30

・基調講演　**「横浜の防火帯建築と戦後復興」**

横浜国立大学准教授　藤岡泰寛氏

・基調講演　**「防火帯建築の構成と可能性」**

神奈川大学教授　中井邦夫氏

・シンポジウム　パネルディスカッション

「防火帯建築の今・継ぐ（つなぐ）もの」

モデレータ カサイ アーキテクチュラルデザイン 笠井三義氏

＊懇親会 会場 ワークピア横浜 宴会場　47 名　17：00～18：00

横浜大会のはじまり、心配した雨も、まち歩き時には上がり、交流会日和となりました。案内人にお話しを聞きながらのまち歩きは、いつも見ている建物を見直す機会となり、講演は、横浜の戦後のまちづくりから今を知る事になりました。横浜の建物を日頃より調査されている会員の案内、横浜のまちを研究されている若い先生方の講演、シンポジウムとレベルの高い内容に、参加の皆さん、満足された様子でした。横浜の防火帯建築とまちづくりを知り、大好きな横浜、建築士として、これから何ができるのかを考えたいと思いました。　（雨森隆子）

◆実行委員として参加◆

今回、活動交流会実行委員会の委員（女性委員会）として、関わりました。まち歩きは、興味のある会員が多く、定員いっぱいの参加者で出発、横浜の歴史ある建物や発掘跡等を見学。何度も来ている横浜関内周辺ですが、参加者から「こんなところがあったとは！」等の感想が多くあがり、新たな横浜の魅力を発見するまち歩きでした。

講演会は、みなと横浜、観光地のイメージとは、また違う防火帯建築から、横浜を知りました。横浜の昔ながらの魅力が伝わる内容で、私自身も非常に興味を持ちました。懇親会も多くの方がご参加され、楽しい時間でした。横浜の魅力を改めて感じ、“愛すべきまち“だと思いました。　　（高橋愛枝）

◆まち歩きＡコースに参加して Part.1◆

横浜の防火帯建築のまち歩きで、シンプルな集合住宅には生活感が感じられ、対照的に意匠的な旧銀行や事務所に重厚感を感じることができた私にとって、横浜は、魅了するまちでした。今まで雰囲気のあるまちだと大まかに捉えていたまちの歴史を感じて、さらに知りたいという思いと防火帯建築を残すには、自分に何ができるか考えていきたいです。

（脇谷聡美）

◆まち歩きＡコースに参加して Part..2◆

まず、弁三ビルの説明を受け、普段見慣れている光景が一転しました。見方を変えると１・２階は店舗、３・４階は住居の県供給公社複合ビル。横浜の防火帯建築の第１号で、所有者は三溪園・原さんの一族。

戦後復興の区画整理を、関東大震災後の区画に戻し、関内独特の風景があります。吉田町の防火帯建築に、事務所がある、建築家 飯田善彦氏は、１階ブックカフェ、２階設計事務所にされている。一部吹きもあり、異国に居る様な雰囲気です。ブックカフェは、ライブラリーカフェとしての顔もあり、地域に溶け込んだ様子で、開かれた設計事務所です。

まち歩きの参加者は、案内役の笠井先生の話に熱心に耳を傾け、身近な建物が、見方を変えると違う建物に見えてきたと感想を述べていました。（山田夏江）

◆夏の納涼会に参加して◆　　８月28日

初めて、納涼会に参加させて頂きました。厚生委員として、今回の納涼会は、微力ながらお手伝いをさせて頂きました。当日は、残念ながら天候があまり良くないため、室内での開催となりました。

景色の素晴らしい屋外で、皆様方と親睦を深められると思っていただけに、少し残念な思いがありましたが、急遽決まった会場は、「スターボ」というところで、とても素晴らしい会場でした。会場内の雰囲気などが良く、食事もビールも一段とおいしく感じることができ、大満足でした。

皆様は気さくに声をかけてくださりました。とても新鮮で、とても刺激を受け、本当に充実した納涼会でした。ありがとうございました。　　（谷口博志）

美術館建築シリーズ

国立西洋美術館見学会

木名瀬　佳世

10 月 1 日、国立西洋美術館の見学会に参加した。ル・コルビュジェの名作とその保存方法を、西洋美術館の福田京様に解説をして頂き、その後内部見学を行った。完成した当初は、コルビュジェらしい奥行きの感じられるピロティがあったのだが、地方の美術館的な、こぢんまりとした展示を想定していたため、実際使用してみると展示や収蔵スペース、スタッフルーム等全体的に面積が不足し、増築を重ねることとなったそうである。コルビュジェの「無限成長建築」というコンセプトに基づき、必要に応じて容易に拡張できる構造になっている。今では当たり前の事だが、これが昭和 30 年代に考えられていたと思うといかに先進的だったことか。増築の結果ファサード前列の柱以外は室内化されてしまい、コルビュジェらしいピロティの感じが失われたのは少し残念である。

この建物は、日本で初めて本格的な免震レトロフィット工事を行ったことも特徴である。建物だけでなく前庭の彫刻作品にも免震台を設置することも積極的に取り組んだという。建物の解説を伺ったあとに、実際の免震装置を施工のプロセスを聞きながら見学できたのも貴重な体験であった。

建物の随所にコルビュジェのデザイン思想が組み込まれており見所がとても多く、じっくり時間を取って再訪したい。

日帰り研修バス旅行

横浜支部　鈴木 由紀子

11 月 11 日（水）、今回は世界遺産に登録された和紙の手すき体験と埼玉の歴史的な建築に触れるバス旅行でした。

最初に訪れたのは「埼玉伝統工芸館」。小川町で作る細川紙の歴史や材料等の説明を聞いて、和紙の手すき体験をし、思い思いに葉っぱや花びら等で、模様をつけて楽しい紙すき体験はあっという間に終わりました。

次に向かったのは「吉田家住宅」。重要文化財に登録される以前に住んでいた吉田家のお嫁さんの住まい手としてリフォームしたい話が興味深いものでした。ご本人の体験を通して、文化財を保護しながら、活用していく上手な方法を聞かせてくれました。

ランチは蔵の街川越にある「HATSUNEYA」でした。伝統的な日本建築を改装したおしゃれなレストランでした。偶然私のテーブルはワイン同好会の方々で、ワイン飲みながらのランチになりました。川越の地ビール「COEDO」も美味しかったです。

昼食の後は自由に川越の街を散策です。川越は蔵の街以外にも近代建築や神社仏閣も多く点在していて、またゆっくりと訪れてみたいところだと思いました。

最後に見学したのは「吉見百穴」です。古墳時代の横穴墓と軍需工場がありました。見晴台に上ると、夕焼けと埼玉の街の奥に群馬の山々が見える雄大な景色で、とてもリフレッシュした一日の終わりになりました。

昨年、初めて参加した時は知り合いが全くいませんでしたが、今回は少しずつ知り合いが増えてきて、見学以外にも楽しい旅行になりました。

次回のバス研修も楽しみにしています。

テニス同好会便り

定例会報告　　場所：金沢産業振興センターテニスコート

７月１１日（土）参加者９名

７月は１回となりましたが、天候に恵まれ、２時間の練習、試合はとても盛り上がりました。

８月８日（土）参加者７名

今回は５時～７時の２面、２時間の定例会で、暑い時間帯は外れていましたが、それでも、とても暑くて休憩を取りながらの練習会でした。

８月２２日（土）参加者４名

休み明けのためなのか？
今回は４名の参加でした。
ダブルスのゲームを６ゲーム先取で行いました。たっぷり練習できました。

９月１２日（土）参加者８名

テニスをするのには良い気候となってきました。
本日も４時間の定例会で、８名が参加してくれました。コートは１面でしたので、休憩を入れながらのんびりとゲームができました。

９月２６日（土）参加者８名

雨の予報が一転してテニス日和となりました。本日も４時間で、コートは前半１面、後半２面でしたので、ちょっとハードでしたがたっぷりとゲームができました。

１０月１０日（土）参加者８名

テニスをするのにちょうど良い気候となってきましたが、本日は後半雨が降り出してしまい　２時間の定例会となりました。それでも参加８名でゲームはとても盛り上がりました。

１０月３１日（土）参加者 11 名

２面４時間の定例会でしたが、今回は女性が４名参加してくれて、とても盛り上がりました。

１１月 14 日の定例会は珍しく雨天の為中止となりました。

同好会会員募集中！

テニスに関心のある方どなたでも参加可能です。特に女性大歓迎！お気軽に連絡下さい。
定例会は原則第２・４土曜日を予定していますが、予約状況により異なりますのでお問い合わせください。
ご連絡の際はメールの場合でもお名前、連絡先の記入お願いします。

連　絡　先　：　玉　野　　045-894-8452　　FAX893-6614
n.tamano@architect-tamano.jp

お 知 ら せ

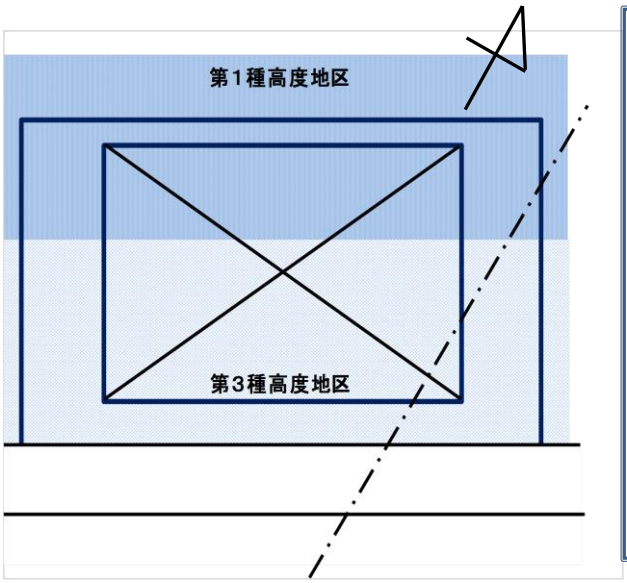
総 務 委 員 会 か ら

平成 27 年 10 月 30 日（金）に開催された「第 58 回建築士会全国大会（石川大会）」において、横浜支部から高橋 秀行氏、星野 将史氏、他、田中 忠夫氏（横須賀支部）、河本 義彦氏（川崎支部）計 4 名が連合会会長賞、伝統的技能者賞に鈴木 光雄氏が、表彰されました。

受賞者の皆さまの長年にわたる建築士会活動が、認められましたことを会員一同心よりお慶び申しあげます。（長井　邦夫）

横 浜 市 建 築 局 か ら

これから何回かにわたり、不適切な確認申請事例を連載します。誰でもミスは避けたいもの。でも知識が不足していたり、勘違いをしたり、うっかり…といったことが現実に起きています。今後、設計される際にご注意いただきたい点を、横浜市内での事例を基に紹介します。



●建築基準法第 58 条の北側斜線に抵触した案件●

申請敷地が異なる高度地区にまたがっており、建築物の多くは規制の緩い高度地区に納まっていました。しかし、屋根の一部が第 1 種高度地区の規制を受けることを見落としてしまったものです。

ポイント！

2 以上の高度地区又は高度地区の内外にわたる場合の北側斜線は、**北側敷地境界線が属する高度地区の制限を受けます。**特に、屋根の部分の高度地区よりも北側敷地境界線が属する高度地区の方の規制が厳しい場合は、屋根側にも厳しい高度地区の制限がかかりますのでご注意ください！

広 報 委 員 会 か ら

より充実した「支部だより」にするためにはどうすれば…？「支部活動の活性化の事例」、「会員増強のＰＲ策」などなど…支部だよりの新たな情報発信について検討します。皆様のアイデアをお寄せ下さい。

支部だよりは会員の皆様の原稿をもとに広報委員会が手づくりで編集しています。皆様からのご感想をお待しています。（編集後記 加藤）

【お詫び】「よこはま支部だより第 63 号 2015 夏」に誤りがありました。読者の皆様ならびに関係各位にご迷惑をおかけしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

	正	誤
P4 Tas-Fine 適用箇所	φ220㎜の円柱	φ200㎜の円柱
P8 会員名	芹澤会員	高橋会員
	高橋会員	芹澤会員

【広報委員】落合　博・玉野直美・丸山幸一・雨森隆子・加藤高明
発行　一般社団法人神奈川県建築士会　横浜支部事務局
〒231-0011　神奈川県横浜市中区太田町 2 丁目 22 神奈川県建設会館 5F
TEL:045-201-1284　FAX:045-201-0784
http://www.kanagawa-kentikusikai.com/sibu/yokohama/